

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐山高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月5日(火) 14:00~16:00
- 3 開催場所 岐山高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業及び全校集会の参観を実施した
- 4 参加者 委員 河崎 哲嗣 岐阜大学教育学部 数学教育講座 教授
中川ひろみ 岐阜大学医学部 地域生涯発達看護学講座 教授
石井 郁夫 長良東自治会連合会 会長
内田 真樹 長良東民生委員 主任児童委員
若井 悟 本校元同窓会長
田中 博之 本校PTA副会長

学校側 増田 泰志 校長
溝下 肇 教頭
舘 弘士 教頭
川口 晋 教務部長
有賀 浩樹 生徒支援部長
小森 美穂 進路支援部長
小島 隆史 教務副部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和6年度 生徒及び保護者を対象としたアンケート結果について

意見1: 回答の点数1(「わからない」)は平均には入れていないか。

⇒評価があった場合で計算していることから、1は平均には含めていない。

意見2: Eの割合が多い質問もあり、平均だけでは分布が分からないため標準偏差を見たい。

⇒準備する。

(2) スクールミッションの文言全般について

意見1: 理数科設置校は、各校同じような文言になっている印象がある。ベトナムとの連携を行っているのに「グローバル」という言葉が無いのはなぜか。地域という言葉に捉われてしまっていないか。

⇒「グローバル」の文言の有無については協議があった。短いスクールミッションの文言の中で「グローバル」という言葉を明記せず、科学的な思考や課題の解決の先に、必然的にグローバルがあると考えてもらいたい。

意見3: 「学習指導要領」に書かれていることがスクールミッションになっている気がしてならない。枠を飛び出す(既存のものから抜け出す)ことはできないのか。

⇒スクールミッションについては地域社会から期待されている社会的な役割等を文言に

したものであり、短期間では変わらないものであると考える。ここでは枠の内外は考えずに、ふさわしいものを制定していきたい。

(3) スクールミッションにおける①（「～として」）について

意見1：岐山は理数科があるため、特徴をとらえたスクールミッションになっていると思う。

一方で、保護者目線に立つと、理数分野以外に興味関心がある子どもに対してこの文言でどのようにアピールしていくのか知りたい。

⇒人文科学・社会科学としての「科学的」であり、理数科の生徒だけに当てはまるわけではない。

⇒本校の校歌にも含まれる「科学」的視点は理数科だけのことではなく、普通科にも「ものの見方、考え方」として指導している。

意見2：「科学的」などという文言は幅広い意味を持ち、「論理的思考力」「リーダー」の育成のためであり、非常に良い。

(4) スクールミッションにおける②（「～を通して」）について

意見1：先日、生物部4名の生徒が竹を取りに来たが、誰がリーダーでもなく自分たちで話し合いながら活動しているのを見て感心した。「リーダーシップ」と「探究」に対する態度はやはり育んでほしい。

意見2：全国的に「探究活動」の質が落ちている。岐山高校の話ではないが、教員もやっつけ仕事でやっているような感じがする。中学生の方が質が高い場合も見られる。探究活動については積極的な姿勢で行ってほしい。

⇒昔は、やりたい子が探究活動をしていたが、今は「全員がやる」ことが当たり前になってしまい、消極的な生徒が増えてきていることが考えられる。また、教員も成果物を出させることが目的になっていることも否めない。本校でも、生徒のモチベーションを高めることを忘れずに、質の高い探究活動を目指していきたい。

(5) スクールミッションにおける③（「～を目指す学校」）について

意見1：「リーダーシップ」は今の世間、企業には求められる資質である。全員がなれるわけではないが是非目指してほしいし、「リーダー」という言葉は残してほしい。セオリー通りだけではなく、前例のない発想を求めたい。また、岐山高校からそのような人材を輩出してほしい。

⇒リーダーは頂点の1人だけでなく、いろいろな形や立場でのリーダーがあるため、それぞれの役割が果たせるリーダーが育成できるように指導していきたい。

意見2：リーダーシップをとりたいが、心の問題で出来ない、折れてしまう人が増えているが、頑張ってもらいたい。スクールミッションに対する生徒からの意見も的を射ていて素晴らしい。

意見3：「大きな人間」をまず育てるという目標であればよいと思う。平々凡々な子であっても何らかの形でリーダーシップをとったり活躍できたりする力を育ててほしい。

(6) スクールミッション策定について

意見1：委員の方々からいただいた意見は、スクールミッションに反映していくのか。

⇒今回の意見を踏まえ、③の表現について、もう一度校内で検討したい。11月末に提出するスクールミッション（案）については最終的に校長に一任してほしい。

（委員の同意を得た。）

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会では、今年度の本校の学校経営計画を踏まえた進捗状況や、後期の計画について確認した。
- ・学校評価アンケートの結果や評価については、了解が得られた。ただし、データについては、ばらつきが分かるように、標準偏差を掲載したものを第3回までに用意する。
- ・スクールミッションの策定については、本校で検討した案について基本的な承認が得られた。ただし、今回の学校運営協議会で得られた議論を基にもう一度校内で議論し、必要に応じて修正することとした。